

資格が活かせるのはどんな場面？

- **旅行関係**
海外旅行の企画や国内外の旅行者への対応に活かれます。
⇒ツアーコンダクター、フライトアテンダントなど
- **国家公務員や地方公務員など公的機関**
日本に在住する外国人に対応する時や国際交流、地域の文化の紹介の際に宗教文化の知識が求められます。
- **教育関係**
世界史や日本史、地理、倫理などのほか、古典や現代文のなかにも宗教をテーマとした作品があります。英語の文章の読解にもキリスト教の知識が役立ちます。
多様な宗教的背景をもった児童・生徒、保護者とのコミュニケーションの際に大事になります。
- **マスコミ関係**
宗教関連のニュースは絶えず流れてきます。適切な理解があれば、不適切な報道を避けられます。
- **冠婚葬祭業**
多様な宗教に対応した結婚式や葬儀が求められています。
⇒ブライダルプランナー、葬祭ディレクターなど
- **最近では、食品関連企業（ハラール市場）、IT関連企業、金融業や医療関係など、さまざまな分野で宗教文化の知識が求められています。**
- **地域社会**
自治会やPTA活動において、外国人の宗教文化を理解しなければならない場面が増えています。

資格取得後も学び続けられます！

- ◆ 宗教文化士には年6回無料のメルマガを送信します。
宗教文化に関わる国内外のニュースを解説付きでお知らせします。
- ◆ 「宗教文化士の集い」に参加できます。
- ◆ センターで主催する、あるいは関連する講演会、シンポジウム等の情報をお知らせします。
- ◆ 協定を結んでいる博物館・資料館では、優待制度を利用することができます。
- ◆ 資格は5年間有効です。その後更新のための手続きを経ることで上級宗教文化士の資格(終身)が得られます。



2011～18年度に宗教文化士を出した大学

愛知学院大学	首都大学東京	中央大学
ウィーン大学	上智大学	筑波大学
大谷大学	清泉女子大学	天理大学
関西大学	相愛大学	日本大学
関西学院大学	大正大学	フェリス学院大学
九州大学	東京外国語大学	北海道大学
京都大学	東京大学	八洲学園大学
皇學館大学	東北学院大学	立教大学
高野山大学	東北大学	立正大学
國學院大學	東洋英和女学院大学	龍谷大学
国際基督教大学	東洋大学	ルーテル学院大学
駒澤大学	同志社大学	早稲田大学

宗教文化教育推進センター

Center for Education in Religious Culture
(CERC: 略称「サーク」)

〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28

国学院大学AMC 5階

電子メール

info@cerc.jp

ホームページ

http://www.cerc.jp/



21世紀に求められる資格 宗教文化士

地域社会でも学校でも、共生は大きな課題
心がけておくべきことは？

職場の同僚に外国人がいた場合、
とりあえずどんなことに配慮したら
いいだろう？

ハラールという言葉はよく聞くよう
になったけど、本当はどういう意味？
では、コーシャは？

国際会議のときに、用意する食べ物
で注意すべきことは何だろう？

外国人に宗教を聞かれて、「私は無宗教
です」で話が終わっていいのだろうか？

21世紀になってから、国外から
日本を訪れる人の数は急激に増加！
宗教文化の違いを知っていること
がとても大事になる！

目指していること

※教えや儀礼、神話を含む宗教文化の意味について理解ができる。



※キリスト教、イスラム、ヒンドゥー教、仏教、神道などの宗教伝統の基本的な事実について、一定の知識を得ることができる。



※現代人が直面する諸問題における宗教の役割について、公共の場で通用する見方ができる。



◆大学・大学院で単位取得が必要な科目の例

- 「宗教学」「宗教社会学」「宗教学人類学」「宗教民俗学」「比較宗教学」「比較神話」「新宗教論」「宗教思想」「宗教哲学」「宗教史」などの科目
- キリスト教、仏教、イスラム、神道、道教、ユダヤ教、ヒンドゥー教など、日本や世界の諸宗教の歴史・現状や思想を扱った科目
- 宗教と現代社会の関わりを扱った科目、宗教と文学、芸術、習俗、死生観などとの関わりを扱った科目

資格取得までの流れ

- ◆大学・大学院の在籍者
(卒業・修了後2年以内も可)
- ◆小学校～大学の教員
(3年以上の経験)
- ◆全国紙・宗教専門紙等での記者経験者
(3年以上の経験)

受験申請

認定試験

- ☆年2回・原則として6月と11月
- ☆全国複数大学が会場

合格後所定の手続き

認定にかかる費用

受験料 4,000円
(再受験の場合は3,000円)
認定料 6,000円

受験資格

- ◆大学生・大学院生
 - ・学部生は原則として2年生後期以上。
 - ・卒業または修了後は2年以内まで受験可能です。
 - ・原則として関連する科目から16単位以上を取得していることが必要です。⇒「大学・大学院で単位取得が必要な科目の例」を参照
- ◆小学校～大学の教員
 - ・関連科目で3年以上の教育歴があることが必要です。
 - ・非常勤の教歴でも可です。
- ◆全国紙・宗教専門紙等の記者経験者
 - ・原則として関連事項の取材経験が3年以上あることが求められます。

試験の内容

- ①記号選択式問題が50問あります。
 - ②論述式問題が1問あります。
(時間は各1時間)
- *過去問はホームページにすべて公開されています。
*練習問題(200問)の冊子や市販の問題集もあります。
◇宗教文化教育推進センター編『解きながら学ぶ日本と世界の宗教文化』(集広舎、2019年)

宗教文化教育推進センターの運営

- *「宗教文化士」の制度には、2つの全国学会が連携しています。
 - ・日本宗教学会
 - ・「宗教と社会」学会
- *全国の30以上の国公立・私立の大学の教員が、運営委員や連携委員として関わっています。

詳しくは宗教文化教育推進センターのホームページをご覧ください。